

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 6 区分
 【発行日】平成 25 年 6 月 20 日 (2013.6.20)

【公開番号】特開 2011-207490 (P2011-207490A)
 【公開日】平成 23 年 10 月 20 日 (2011.10.20)
 【年通号数】公開・登録公報 2011-042
 【出願番号】特願 2010-74779 (P2010-74779)
 【国際特許分類】

B 6 5 D 85/68 (2006.01)

B 6 5 D 85/00 (2006.01)

【 F I 】

B 6 5 D 85/68 W

B 6 5 D 85/00 F

【手続補正書】
 【提出日】平成 25 年 2 月 25 日 (2013.2.25)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】請求項 1
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項 1】

ガラス板のような破損しやすい被保護部材およびこの被保護部材の両側を保持する保持部材を有するワークを複数段に積み重ねて梱包するための梱包体において、

ワークの一方側の保持部材を収容保持するための収容部を有する第 1 の梱包材と、

ワークの他方側の保持部材を収容保持するための収容部を有する第 2 の梱包材と、

ワークの被保護部材を保護するための緩衝部材とから成り、

ワークが収容保持された該第 1 の梱包材と該第 2 の梱包材との上に第 1 の梱包材と第 2 の梱包材とがそれぞれ配置されるとともに、上段の両側の第 1 の梱包材と第 2 の梱包材との間に掛け渡されて、下段の被保護部材の上面に緩衝部材が配置されることを特徴とするワークの梱包体。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 8
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 0 8 】

上述の目的を達成するため、本発明は、ガラス板のような破損しやすい被保護部材およびこの被保護部材の両側を保持する保持部材を有するワークを複数段に積み重ねて梱包するための梱包体において、ワークの一方側の保持部材を収容保持するための収容部を有する第 1 の梱包材と、ワークの他方側の保持部材を収容保持するための収容部を有する第 2 の梱包材と、ワークの被保護部材を保護するための緩衝部材とから成り、該第 1 の梱包材と該第 2 の梱包材とにより収容保持されたワークの上に第 1 の梱包材と第 2 の梱包材とがそれぞれ配置されるとともに、上段両側の第 1 の梱包材間に掛け渡されて、緩衝部材が下段の被保護部材の上面に配置されるものである。